

北東小コミスクだより

加須市立北川辺東小学校
令和8年3月発行

2月18日（水）第3回コミュニティスクールを開催しました。授業参観後、学校評価の報告や来年度の学校経営方針についての熟議を行いました。今年度の体験活動を振り返りながら、「北川辺の教育資源を生かした北川辺東小学校にしかできない教育」をコンセプトに、来年度は、地域から学んだことを児童が主体的に地域に発信していく取組を推進していきます。



○体験活動をさらに充実させるために

- ・「ふじっ子」工場見学では、児童からの感謝の手紙や元気な挨拶が喜ばれました。児童が関心を持つことが学びの原点となるよう、今後も工夫していきたいと考えます。
- ・地粉を使ったうどん作りについては、調理器具等の環境を整備し、他学年でも実施できるようにすることで、北川辺の農業から学ぶ機会をさらに広げたいという意見が出されました。また、野菜作りを通した学びも一層充実させたいとの声もありました。今年度は収穫した野菜をどんぐり祭りで販売しました。来年度の活動内容は、今年度中に検討し、まとめていきます。

○地域に発信する方法

- ・「FM わたらせ」を活用し、学校の取組を発信してはどうかという提案がありました。本校と西小の両校が参加できれば、より魅力的な取組になるのではないかという意見もありました。
- ・PTAの広報誌は、現在PTAが中心となって作成していますが、児童と協働で紙面の一部を作成してはどうか、という案も出されました。
- ・子供が卒業すると、学校の様子が分からなくなるため、学校ホームページだけではなく学校だよりを地域回覧に乗せるなど、地域への情報発信の工夫も求められました。

○その他

- ・タブレット端末を活用した学習が増える中で、視力への影響を懸念する声がありました。「目の健康」についても十分配慮し指導を進めてまいります。

地域の皆さまのご理解とご協力に、改めて感謝申し上げます。これからも、子供達の学びと成長を地域とともに育ていけるよう、努めてまいります。今後とも、よろしくお願いいたします。